

連日2本立て上映+トークイベント開催によるトークイベント開催

●主催:シネマドリフターズ(cinema drifters)、影意志(Ying E Chi)、テアトル新宿(theatre Shinjuku) ●協賛:香港藝術發展局(Hong Kong Arts Development Council) ●協力:艺鶴(Art and Culture Outreach)、香港藝術中心(Hong Kong Arts Centre)、香港電台(rthk)

2017年6月大阪九条シネ・ヌーヴォにて《香港インディペンデント映画祭》開催決定!(香港映画のみの上映になります)

会場 テアトル新宿 Tel: 03-3352-1846 HP: http://www.ttcg.jp/theatre\_shinjuku/

●主催:シネマドリフターズ(cinema drifters)、影意志(Ying E Chi)、テアトル新宿(theatre Shinjuku) ●協賛:香港藝術發展局(Hong Kong Arts Development Council) ●協力:艺鶴(Art and Culture Outreach)、香港藝術中心(Hong Kong Arts Centre)、香港電台(rthk)

連日18:30

連日18:30~

18:30より開始		終了23:00	
1本目!日本 Japan (休憩10分)		2本目!!香港 Honk Kong	
トークイベント [司会/通訳 リム・カーワイ]			
4/15 土	A ケンとカズ Ken and Kazu 96分【監】小路紘史	→→→→→ 乱世備忘—僕らの雨傘運動 Yellowing 128分【監】チャン・ジューン	→→→→→ 小路紘史×チャン・ジューン Talk Event
4/16 日	B ディアードイヤー Dear Dear 107分【監】菊地健雄	→→→→→ 憂いを帯びた人々 Leaving in Sorrow 90分【監】ヴィンセント・チュイ	→→→→→ 菊地健雄×ヴィンセント・チュイ Talk Event
4/17 月	C FAKE 109分【監】森達也	→→→→→ 狭き門から入れ Three Narrow Gates 105分【監】ヴィンセント・チュイ	→→→→→ 森達也×ヴィンセント・チュイ Talk Event
4/18 火	D 下衆の愛 LOWLIFE LOVE 111分【監】内田英治	→→→→→ 哭き女(なきおんな) Keening Woman 115分【監】リタ・ホイ	→→→→→ 内田英治×リタ・ホイ Talk Event
4/19 水	E 水の声を聞く The Voice of Water 129分【監】山本政志	→→→→→ 河の流れ時の流れ Flowing Stories 102分【監】ツァン・ツイシャン	→→→→→ 山本政志×ツァン・ツイシャン Talk Event
4/20 木	F THE DEPTHS 121分【監】濱口竜介	→→→→→ 香港の今が分かる傑作短編集 計101分 九月二十八日・晴れ【監】イン・リャン 遺棄【監】マック・ジーハン 表象および意志としての雨【監】チャン・ジューン	→→→→→ 濱口竜介×イン・リャン× マック・ジーハン×チャン・ジューン Talk Event
4/21 金	G 新世界の夜明け New World—Shinsehai Story 93分【監】リム・カーワイ	→→→→→ アウト・オブ・フレーム Out of Frame 95分【監】ウィリアム・クォック	→→→→→ リム・カーワイ×ウィリアム・クォック Talk Event [司会 松崎まこと(放送作家/映画活動家)]

# 香港

料金  
一般 一八〇〇円  
大専・シニア 二五〇〇円

\*水曜サービスDAY適用なし

\*2本立て+トーク付

\*リピーター割引:開催中の半券提示で窓口料金200円引き

香港のイベントイベントイベント

詳細続々更新中! (FB・Twitter・公式サイトにて)

公式サイト [jphkindie.wixsite.com/2017](http://jphkindie.wixsite.com/2017)  
 facebook [www.facebook.com/jphkindie2017](https://www.facebook.com/jphkindie2017)  
 twitter @cinemadrifter

映画祭・上映等に関するお問い合わせはこちらまで:  
 [主催] [cinemadrifter@hotmail.co.jp](mailto:cinemadrifter@hotmail.co.jp)  
 [劇場] [theatre\\_sinzyuku@ttcg.jp](mailto:theatre_sinzyuku@ttcg.jp)

字幕製作▶唐津正樹 | 字幕監修▶最上麻衣子、リム・カーワイ  
 デザイン▶阿部事務所&高橋彩基

主催▶cinema drifters, 影意志 Ying E Chi, テアトル新宿 Theatre Shinjuku  
 協賛▶香港藝術發展局 Hong Kong Arts Development Council  
 協力▶艺鶴 Art and Culture Outreach, 香港藝術中心 Hong Kong Arts Centre, 香港電台 rthk

cinema drifters 影意志 Ying E Chi テアトル新宿 Theatre Shinjuku 香港藝術發展局 Hong Kong Arts Development Council

入場料金 2本立て+トーク付【一般】1,800円【大専・シニア】1,500円(水曜サービスDAY適用なし)  
 リピーター割引=開催中の半券提示で窓口料金200円引き

開場時間  
 18:30  
 19:30

新宿駅東口 伊勢丹メンズ館隣 B1F  
**テアトル新宿**  
 03 (3352) 1846 [www.ttcg.jp](http://www.ttcg.jp)  
 テアトルシネマグループ



★日本初公開!!未知の香港インディペンデント映画

# 映画祭

プログラム  
 ◎4.15[土]《ケンとカズ》小路紘史×《乱世備忘—僕らの雨傘運動》チャン・ジューン  
 ◎4.16[日]《ディアードイヤー》菊地健雄×《憂いを帯びた人々》ヴィンセント・チュイ  
 ◎4.17[月]《FAKE》森達也×《狭き門から入れ》ヴィンセント・チュイ◎4.18[火]《下衆の愛》内田英治×《哭き女(なきおんな)》リタ・ホイ◎4.19[水]《水の声を聞く》山本政志×《河の流れ時の流れ》ツァン・ツイシャン◎4.20[木]《THE DEPTHS》濱口竜介×香港の今が分かる傑作短編集:《九月二十八日・晴れ》イン・リャン、《遺棄》マック・ジーハン、《表象および意志としての雨》チャン・ジューン◎4.21[金]《新世界の夜明け》リム・カーワイ×《アウト・オブ・フレーム》ウィリアム・クォック

開催期間  
 4/15 (Sat) から  
 4/21 (Fri) まで

開場時間  
 18:30  
 19:30

2017年

2017年

話題の日本インディペンデント映画

# 乱世備忘 僕らの雨傘運動

乱世備忘……Yellowing



**4.15** **A** 2014年に起こった雨傘運動の始まりから終わりまでを記録したドキュメンタリー映画。監督のチャン・ジーウンは運動全体を俯瞰することなく、無名の若者たちに焦点をあてた。カメラは雨傘運動の中で彼らが変化していく様子を冷静に見つめるが、最後はとてつもなく感動的な青春物語に仕上がっている。2016年のバンクーバー映画祭で上映された時、アメリカの有名な映画評論家デビッド・ボードウェル (David Bordwell) は本作を最高の5本の内の1本、香港の若者に大変勇気付けられたと絶賛した。

【2016年/128分/カラー/広東語/Blue-Ray】  
監督▶チャン・ジーウン Chan Tze Woon  
日本語字幕▶最上麻衣子

# 哭き女

哭き女……Keening Woman



**4.18** **D** 香港実験映画の第一人者であるリタ・ホイ監督の劇映画長篇第2作。死んだ親戚の通夜を経験した後、自身が持っていない記憶やアイデンティティの間をさまよいながら、異常行為を繰り返すヒロイン。香港の過去、現在、未来を寓意的に描くホラー映像詩。実験的なスタイルとジャンル映画を融合し、インディペンデント映画でもなく、商業映画でもない、従来の香港映画のイメージを打ち破る美しい作品からは香港という都会への愛が画面の隅々からにじみ出ている。ヒロインを全身全霊で演じた香港のスター女優、ミシェル・ワイ (詩雅) はあまりにも美しい。

【2013年/115分/カラー/広東語/Blue-Ray】  
監督・脚本▶リタ・ホイ Rita Hui  
主演▶ミシェル・ワイ、ミツイ・ハナ  
日本語字幕▶河合彩子

# 傑作短編集

**4.20** **F** 【3作品上映/計101分/Blue-Ray】  
日本語字幕▶神部明世

# 九月二十八日・晴れ



日本でもよく知られる中国インディペンデント映画監督、イン・リャン (応亮) が香港亡命後初めてメガホンを取った短編。タイトルにある九月二十八日は雨傘運動が起きた日でもある。雨傘運動が勃発した当日、映画配給会社に勤める女性がまもなく老人ホームに入る父親に会いに行く……。父親役には香港アカデミー賞前会長、ジョー・チョン (張同祖)。本作は2016年台湾アカデミー賞の最優秀短編賞を授賞した。

【2016年/25分/カラー/広東語】  
監督・脚本▶イン・リャン Ying Liang | 撮影▶大塚龍治  
主演▶ジョー・チョン、アイビー・パン

# 憂いを帯びた人々

憂憂愁愁の走了……Leaving in Sorrow



**4.16** **B** 中国返還にともなう香港人の心境の変化を描いたこの映画は、香港、北京、深セン、サンフランシスコを舞台に、信仰を失った牧師、希望を持っていない無気力な若者、過去の傷を背負った雑誌編集者に焦点を当てた群像劇である。香港インディペンデント映画の旗手、ヴィセント・チュイ監督の劇映画長篇デビュー作。香港を代表するスター、「恋の紫煙」のショーン・ユウ (余文樂) の主演デビュー作。返還後の香港、そしてその未来の情景を予見する香港インディペンデント映画の傑作。

【2001年/90分/カラー/広東語・中国語・英語/DVD】  
監督▶ヴィンセント・チュイ Vincent Chui  
出演▶ショーン・ユウ、アイビー・ホー、トニー・ホー  
脚本▶パトリック・コン | 日本語字幕▶市川菜摘

# 河の流れ 時の流れ

河上變村……Flowing Stories



**4.19** **E** 商業映画界でも知られた女性監督、ツァン・ツイシャン (『ビッグ・ブルー・レイク』は大阪アジア映画祭で上映され、「君の香り」は日本でも劇場公開された) による、自身が生まれ育った村の過去、現在、未来を複数の家族のストーリーを通じて多面的に描いたドキュメンタリー。舞台となる村からフランス、イギリスへと移民した家族の映像は、香港のとある村の近代史、世界との関係を野心的に構築し、過去100年に渡る香港社会の縮図を浮き彫りにする。素晴らしい編集を手掛けたのは長年エリック・ロメールの映画の編集に従事する香港人メアリー・スティープン。

【2014年/102分/カラー/広東語/Blue-Ray】  
監督▶ツァン・ツイシャン Jessey Tsang  
編集▶メアリー・スティープン  
日本語字幕▶阿部和美

# 遺棄

遺棄 When we cannot Breathe



父親が自殺し、1人残された息子。フラッシュバックで描かれる父親の生前の行動から、社会に「遺棄」された人々の姿が浮かび上がる。香港テレビ局 (RTHK) に所属する映像ディレクター、マック・ジーハン (麥志恆) が撮った、胸を締めつけるようなヒューマンドラマの傑作。この映画から雨傘運動の遠因でもあり、未だに解決の糸口が見つからない、さまざまな不平等、社会問題が見えてくる。

【2013年/50分/カラー/広東語】  
監督▶マック・ジーハン Mak Chi Hang

# 狭き門から入れ

三條窄路……Three Narrow Gates



**4.17** **C** 返還から10年を経た香港が舞台。中国政府が約束した「一国二制度」は果たして維持されているのか。警察、新聞記者、牧師という接点を持たない3人が弁護士殺人事件を通じて繋がり、中国官僚と香港不動産企業が癒着し利権を得たスキャンダルを暴いていく。ヴィンセント・チュイ監督が商業映画ではタブーとされる香港と中国の抱える矛盾や政治の陰謀を描くと同時に、第一級のクライムサスペンスとしても成功している。過去2度の香港アカデミー賞助演男優賞に輝くリウ・カイチー (廖啓智) が主役の牧師を熱演。

【2008年/105分/カラー/広東語/Blue-Ray】  
監督▶ヴィンセント・チュイ Vincent Chui  
出演▶リウ・カイチー、ジョーマン・チャン、ドウ・ハイピン  
脚本▶グレース・マック | 日本語字幕▶吉田雅子

# アウト・オブ・フレーム

片甲不留……Out of Frame



**4.21** **G** 北京近郊の芸術村「宋荘」は政府にとって都合な絵の展覧会を開催されたという理由で、当局の監視下に置かれた。本作はその実在の芸術村をモデルにしている。政府に封殺される画家が自身の血で創作を続け、公安の暴力に対抗する。監視、監禁され、精神的にも追い詰められた彼はある「取り返しのつかない決断」をする……。本作から香港の自由な創作環境もいずれば中国のようになること恐れる監督の視点が読み取れるだろう。監督は、過去ベルリン国際映画祭、釜山国際映画祭などにも出品したことがあるウィリアム・クォック。

【2015年/95分/カラー/中国語/Blue-Ray】  
監督▶ウィリアム・クォック William Kwok Wai-Lun  
日本語字幕▶櫻井里絵

# 表象および意志としての雨

作為雨水: 表象及意志 Being Rain: Representation and Will



香港の社会運動を撮影していた映像制作チームは、ある謎の組織が人工的に天候を操作し、民衆のデモへの参加意欲を損なおうとしていることに気づく。彼らは組織の場所を突き止め、潜入を試みるが……。『乱世備忘』の監督でもあるチャン・ジーウンが、ジョニー・トー主宰の新人監督発掘コンペティション「鮮浪潮」で助成金を得て制作。本作はフェイクドキュメンタリーである。

【2015年/26分/カラー/広東語】  
監督▶チャン・ジーウン Chan Tze Woon

日本・香港の政治・歴史・社会のあらゆる現状を映し出す！  
日本初公開、未知の香港インディペンデント映画9本×  
話題の日本インディペンデント映画7本！

◎日本で香港映画といえば、ジャッキー・チェン、マイケル・ホイ、ツイ・ハーク、ジョニー・トーなどの名前を思い浮かべる人が多いかもしれない。彼らが手がけたカンフー、コメディ、アクション、フィルムノワールなどのジャンル映画や娯楽映画は、香港の環境に合わせて独自の発展を遂げながら、大手製作会社による巨大な流通ルートに乗って日本のみならず全世界を一世風靡した。◎二〇一七年は香港が中国に返還されてからちょうど20年になる。返還時の条件として50年間は香港に高度な自治を認める「一国二制度」が保証されていたが、この20年間の間に、香港と中国という二つの異なる体制の中でさまざまな対立と矛盾が生まれている。例えば二〇一四年の秋に起きた雨傘運動はまた記憶に新しい。このような事件は突如発生したわけではなく、近年、香港の変化に興味を持つ者であれば、社会の推移に伴い民衆の怒りが爆発したことは驚かないかもしれない。今までの商業映画において、香港と中国の関係や、二つの異なる体制がうまくコミュニケーションをとれていないことを反映する物語や表現は、あまり見られなかった。しかし二〇〇〇年代に入ると、このテーマに誠実に取り組み、商業映画とはまったく違う制作体制、流通ルートで製作されるインディペンデント映画が数多く生まれた。◎政治的テーマを持ちながら、実は娯楽性が高い。映画の美学、作家性が重視される日本のインディペンデント映画と比べると、香港の場合は作家性を出

解説▶リム・カーワイ (映画監督、日本・香港インディペンデント映画祭二〇一七主催)

# ケンとカズ

……Ken and Kazu



【2016年/日本/カラー/96分/PG-12】  
監督・脚本・編集▶小路紘史 Hiroshi Shoji | 出演▶カトウシンスケ、毎熊克哉、飯島珠奈、藤原季節 | 配給▶太秦

# ディアーディアー

……Dear Dear



【2015年/日本/カラー/107分】  
監督▶菊地健雄 Takeo Kikuchi | 脚本: 杉原憲明 | 出演▶中村ゆり、斉藤陽一郎、桐生コウジ、染谷将太 | 配給▶オフィス桐生

# FAKE

……FAKE



**4.17** **C** ゴーストライター騒動で世間を騒がせた佐村河内守氏の自宅でカメラを廻し、その素顔に迫る。取材の申し込みに来るメディア関係者たち、ことの真偽を取材に来る外国人ジャーナリスト……。市場原理によってメディアは社会の合わせ鏡となる。ならばこの「ゴーストライター騒動」は、社会全体が安易な二極化を求めていることの徴候と見ることもできる。はたして何が本当なのか？ 誰が、誰を騙しているのか？ 映画は、この社会に瀰漫する時代の病をあぶりだしながら、衝撃のラストへとただれ込む。

【2016年/日本/カラー/109分】  
監督▶森達也 Tatsuya Mori  
配給▶東風

# THE DEPTHS

……THE DEPTHS



**4.20** **F** 国内外の映画賞を席巻した『ハッピーアワー』の記憶も新しい、俊英・濱口竜介の手による日韓合作映画。第11回東京フィルメックスにて特別招待作品として初上映された。韓国写真家のペファン (キム・ミンジュン) は、リュウ (石田法嗣) と名乗る日本人の男娼と出会う。リュウに被写体としての魅力を見出したペファンは、彼をモデルに新作を撮り下ろすことを決めるが、やがて2人のもとに過酷な運命が立ち現れる。

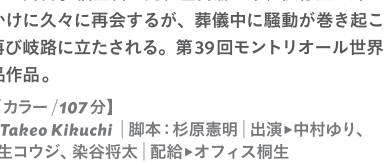
【2010年/日本・韓国/カラー/121分】  
監督・脚本▶濱口竜介 Ryusuke Hamaguchi  
脚本▶濱口竜介、大浦光太  
出演▶キム・ミンジュン、石田法嗣、パク・ソヒ

**4.15** **A** 覚せい剤の密売をして稼ぐケンとカズは、お互い言わずにいる秘密があった。敵対グループと手を組み密売ルートを増やしていく2人だったが、元締めのアキザに目をつけられ次第に追い詰められていく。2015年東京国際映画祭日本映画スプラッシュ部門作品賞を受賞し、監督・脚本・編集は、長編デビューとなる小路紘史。海外映画祭で上映を重ねた同名の短編を基に、自主制作で長編映画化。覚せい剤の密売をして裏社会で生きる男の生き様を、初期衝動の破裂のように激しく切なく描きだし、国内外で高い評価を得た傑作。

【2016年/日本/カラー/96分/PG-12】  
監督・脚本・編集▶小路紘史 Hiroshi Shoji | 出演▶カトウシンスケ、毎熊克哉、飯島珠奈、藤原季節 | 配給▶太秦

# 下衆の愛

……LOWLIFE LOVE



【2015年/日本/カラー/111分】  
監督・脚本▶内田英治 Eiji Uchida  
出演▶渋川清彦、でんでん、忍成修吾、細田善彦  
配給▶Third Window Films

# 新世界の夜明け

……New World – Shinsekai Story



**4.18** **D** 女優と寝ることだけを考える下衆で自堕落な映画監督を渋川清彦が演じ、映画監督の日常を描いたシュールコメディ。日本で映画を撮ることの感動と虚しさを描いた異色作。監督は「グレイトフルデッド」や2017年公開予定「獣道」の内田英治監督。本作は2016年テアトル新宿でされ話題となり、東京国際映画祭をはじめ、ロッテルダム国際映画祭など世界30以上の映画祭で上映。ドイツ、イギリスほかアジア各国では配給もされた。

【2015年/日本/カラー/111分】  
監督・脚本▶内田英治 Eiji Uchida  
出演▶渋川清彦、でんでん、忍成修吾、細田善彦  
配給▶Third Window Films

# 新世界の夜明け

……New World – Shinsekai Story



**4.21** **G** 北京の若い女性、ココは日本でのクリスマスに憧れ、大阪にやってくる。だが、たどり着いたのはメトロポリタンとはかけ離れた大阪の新世界だった。言葉の通じない異国の地でんやわんやの騒動に巻き込まれて行く。「新世界」の一日と一晩で、ココはイメージと全く違う「日本」と自分の知らない「中国」と遭遇してしまう。夜明け頃、彼女は一体なにを見つけるか。大都会の北京と「新世界」人情ものの味わいの中で撮影された無国籍風の群像劇。

【2011年/日本/カラー/93分】  
監督・脚本▶リム・カーワイ Lim Kha Wai  
脚本▶リム・カーワイ | 出演▶史可 (シー・カー)、小川尊、友長光明、宮脇陽平 | 配給▶cinema drifters